

総合計画体系	事務事業名	公共土木施設単独災害復旧事業(R3災)		所属部	建設部	所属課	建設工務課(災害復興T)
	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち《定住環境》		所属G	災害復興G	課長名	今岡 久
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	板持 大悟	電話番号	0854-40-1062
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。			
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		予算科目	0:1550:2	事業名	公共土木施設単独災害復旧事業
	目的・対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。			
					1:0100:3	中事業名	令和3年公共土木施設単独災害復旧事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
災害発生箇所	道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R3 年度～ R6 年度)	・公共土木施設単独災害復旧事業は、市管理の河川、道路が異常な天然現象により被災を受けた場合、復旧するものである。 ・この事業の主な基準としては、日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上で、河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要である。 ・また、対象事業費は60万円未満である。(事業費60万円以上は国庫補助対象)
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ○単独災害箇所 全体箇所数639箇所(道路:451箇所、河川188箇所) ○工事発注・監督 108箇所(道路:64箇所、河川44箇所)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・道路の安全確保や円滑な通行確保のため、道路の日常の点検が必要であり、職員による道路パトロールを実施している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 発注率	%	49.2	67.5	84.7	100
イ 完了箇所数(全体639箇所)	箇所	314	434	543	639
ウ 完了率	%	49.2	67.5	84.7	100
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【工事費】 114,241千円 【地方債】災害復旧事業債	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円	221,900	93,000	114,100	100,000	
		その他	千円					
		一般財源	千円	93	7,000	141		
	事業費計		千円	221,993	100,000	114,241	100,000	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	工事進捗の把握に努め、適宜業者との協議を行い早期完了に向け調整を図った。 これにより85%の箇所の復旧が完了し安全性を確保した。
② 事業実施するうえでの課題	令和3年災においては被災箇所が多いことから情報が錯そうし、災害発生直後の被災状況把握に時間を要した。 また、他事業の復旧工事も含めると被災箇所が非常に多く、施工業者の負担が過大となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	日頃の道路・河川パトロールにて異常箇所の有無を把握するとともに、災害発生時の報告ルールや調査体制の見直しを行った。 復旧工事にあたっては、効率的に復旧が進むよう他事業との発注調整を行い、業者負担軽減を図った。